

## 意見交換会議事録

日時 令和4年7月3日（日） 午前10時～午前11時30分

場所 産業文化会館 大会議室

参加者 8名

- ・ 条例検討委員 福嶋会長、長谷副会長、
- ・ 傍聴 市職員1名、条例検討委員会委員2名
- ・ 市事務局 自治振興室 藤田室長、田邊室長補佐、西村総括主査、赤松主査
- ・ 構想日本 石渡、田部井

### 発言録

#### 1. 開会

#### 2. 議事

##### (1) 当日配布資料確認

事務局より説明

##### (2) 条例骨子案に関する説明

条例検討委員会福嶋会長より説明

##### (3) 意見交換

(市民) ご近所など、近い人だと、嫌な面が見えたりして実際には仲良くなれないと思っている。現実的にはみんなで助け合いというのは具体的に難しいと思っている。ただ、いざという時のために、お互い干渉しない程度に、声を掛け合えたり、助け合いができたらと考えている。自分の近所を見ていて思うことである。

(福嶋会長) 特に自治会や近所のことを言っておられると思うが、それ以外にも福祉や子供の活動をしておられる人たちなどもいる。そういった方も含めて助け合いというのはあると思うが、今のご意見はご近所の話であったと思うが、もちろんこの条例を作ることで、昔の隣組を作ったり、義務付けたり強制するものではない。

(長谷副会長) 現在、自治会の加入率は年々1%ずつ下がってきており、約半分くらい

しか自治会に加入しておられない。自治会というのはある特定範囲の中で組織しているが、生活の中で出てくる課題を解決する役割もあると思うが、組織率が半分ということで顔が見えなくなっており、難しくなっている。自治会が地域の意見の大多数をまとめているとは言えなくなっている。

近い将来、自治会は消滅するのではないかと若い人はおっしゃられるが、我々としては、地域の総意や課題を汲み取っていきたいと考えている。それがこの条例を作ることになった発端である。もちろん条例ができたからと言って自治会に入る人が増えるわけではない。この条例は、出発点。そして皆様にこのことを自分のこととして捉えていただき行動していただきたいと考えている。

(福嶋会長) 昨日の意見もいくつかご紹介したいが、自治会加入を呼びかけても、マンションに引っ越してきたのは自治会などに関わりたくないから、誘わないでほしいとか、LINE だけで情報交換して自治会のような形をできないか、などの質問もあった。なので、相当柔らかく考えないといけないと思う。また比較的若い人のご意見で、“自分は今、自治会に入っているが、自治会でこんないろんなことやっています、と言われても入りたくないと思わない”と言う。どう言われたら自治会に入りたくないと思うかという、“自治会に入っても何もなくていいです。でも災害時のために必要なので入ってください”というのが一番入ろうと思う”という意見もあった。このように様々な考え方があるということ。今後、いろいろな形やあり方を探っていかなければならない。それも含めて出発点ということになろうかと思う。

(市民) この条例ができたあとのアウトプットというか、評価というのはどういう風にしていくのか。私はマンションに住んでいるが、自治会に入っている人は 70%くらい。一方で管理組合もあり、難しい問題。自治会と管理組合を一緒にしようか、という話も出ている。

(福嶋会長) アウトプットということであれば、(XII)の「多様な市民と行政がまちづくりを考える場」を継続してやっていくというのが一番わかりやすいものになるかと思う。しかし、そのほかの条例の1つ1つのことは、この条例を使って、それぞれの団体がどのように活動していくか、にかかっている。そのため、ストレートなアウトプットというよりかは、この条例が皆の活動をするにあたってどのように活かしたか、ということ

がアウトプットになると思う。これまでにあった議論として、議論で出た意見を公開していったらどうかという意見もあったが、それはどうかということで、ここでは取り入れていない。また、昨日出た意見で、3年か数年で「見直し規定」を入れてはどうか、という案も出た。昨日出た意見なのでまだ検討段階であるが、そういったことも考えていきたいと思う。

(市民) 自治会でどのような活動ができるのか、ということをもっとPRして参加してもらおうということをやっていたらいいのではないか、と思う。

(福島会長) 自治会のいい活動を紹介していく、というのは大変いいこと。フルバージョンの活動だけでなく、たとえば、限定してここだけはきっちりやっています、というような紹介もあっていいと思う。ほかにも自治会長会という組織でそのような紹介をしていくということも考えられるのではないか。

(長谷副会長) 数年前まで働いていて、自治会に何の関心もなかった。しかし、活動をはじめ、皆さんが非常に熱心に地域のために活動をされているということに気が付いた。とても生活に密着した大切なことをしてくださっているが、一方で自治会に入っていない方は、タダ乗りしているとも言える。それが少し悔しい。

しかし、ここで条例ができ、そのことでこの機会に自治会に入ってもらえませんか、ということはいいたいと思う。自治会に入ることによって、顔を知ることができ、普段の生活も安心安全につながる。災害時にももしかしたら助けてもらえるかもしれない。自治会に入ることで見えるメリットはないかもしれない。そして自治会に入っていれば役も回ってくることもあるだろう。自治会に入ることには強制できないが、地域を住みよい場所にするために必要なものだということを理解していただければと思う。

(市民) 先日、役員会で提案したのが、メンバーを一新して、夏祭りなどを仕切ってくれている若い人たちに任せてはどうか、ということも言ってみました。もちろん最初に自治会に入ってもらわなければならないが、そういったことが実現しそうであるので、皆さんからも応援していただければと思う。

- (福島会長) とても良い取り組みだと思う。  
また、自治会のただ乗りについては、長谷副会長の個人的なご意見であることは申し添える。この条例が「圧」になってもよくない。逆に気持ちよくタダ乗りできるようになればと思う。活動されている人には複雑な思いかと思うが。
- (市民) 自分の自治会もかなり高齢化している。組織率は70%強だが、高齢で役ができないからと辞めていかれる。役を飛ばすと言うと、気を遣うと言って辞めていかれるし、また役を飛ばす人が増えれば、ほかの人に役がすぐに回ってくれば、辞めたくないという。  
地域には大きな公園があるが、そこが荒れてもよくないし、活動を自治会に入っていない人を阻害しないようにという視点で活動していければと思う。
- (福島会長) 役になれる人となれない人の二重構造の自治会を作ってみてはどうか、と考えたこともあったが、なかなか整理がつかなかった。  
高齢で役ができないからやめてしまうという方がいるというお話であったが、本来は具体的に条例に書くことはないが、工夫や知恵を出し合っていければと思う。
- (市民) 自治会に入っていないが、何一つ困っていない。市民活動団体を立ち上げており、その人たちともかかわりがあるし、「みどりのサポーター」制度に登録していて、近所のお花の植え替えや、犬の散歩などでも顔見知りができている。  
またセブン商店街にも加盟していて、地域のことに関わっている。自治会という組織にとらわれる必要はないのではないか、と考えている。  
またテーマに共感して、ということになると、若い人たちも参加しやすいということもある。  
ただ、災害のことを考えていると、住んでいる地域の特性があるため、自治会という小さな単位でなく、もう少し広く土地の区切りで考えるという風にしてほしいと思う。  
今回の条例では、そういったテーマ型の市民活動と、地域の特性という2本柱をすり合わせていくようなものにしてほしいと思う。
- (福島会長) 現在の条例も地縁団体とそれ以外のような分け方になっている。そうい

った2種類の団体が出会って、連携協力していくということもいいことなのではないか、という思いである。

(市事務局) 市として、この条例を制定しようと考えた原点は、目に見えて「自治会加入率」が下がってきたこと。なぜ自治会加入率の低下を市が心配しているかという、地域の顔見知りがいなくなってしまうから。先ほど話があったように隣近所の顔も知らないということになる。そのため、自治会でもテーマ型であっても最低限、地域に顔見知りを作っていたらいいという思い。

実際に自治会に加入してもらい、加入率を上げるというのはハードルが高い。2本柱として、地域とそれぞれの市民活動で繋がりを作っていただければと思っている。

(市民) 現在は、地縁とか血縁とかでなく、付き合いたい人とだけ付き合っているというのが普通なのだと思う。こういった都会的な考え方が田舎のほうにも波及しているだろうから、組織率は下がるだろうと思う。

みんなができることをできるだけやっていけば、安心・安全な地域ができるのではないかなと思う。

自治会もたくさんあると思うが、大小様々で、できることも様々だろうと思う。そういったところがNPOと連携していける仕組みができればいいのではないかな。

マンションは管理組合があるが、公園もあるし、現在防災に力をいれている。防災用井戸を設置するなどそれを維持するのは全て管理組合の責任。大変なので、それをどこかに委託したいと考えている。

そういった取り組みを行政が支援をしていただければ。たとえば様々な人とマッチングしてもらえそうな場を作ってもらえればと思う。

(福嶋会長) 委託するとか、任せるといような考え方は大切。自治会長会の会議の出席者を委託するといような話もあった。

(長谷副会長) そういう考えもある。現在は全56自治会長が出席している会議があるが、これを代表者のみが出席して聞けばいいのではないかな、と考える。ほかのいろんな方法もあるといことを考えている。

#### 4. 閉会